



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和5年 3月 2日 No. 20
園長 安藤賢治

緊張する を ワクワクする！ に

■「お遊戯会」は、見ごたえばっちり、**子供たちの“パフォーマンス”最高!** でした。

・・・家族の方が見ている・・・

これが、よい刺激となって、また一つ、宝物ができました。～ありがとうございました～



ひ)はなかつぱ ス・マイ・ル



な)どうぶつ村の小人のくつやさん



た)ロケット ペンギン

※適度な緊張によって、集中力を高め、脳を研ぎ澄ます脳内物質、ノルアドレナリンが分泌されるので、実は私たちのパフォーマンスを高めるのです。

➤つまり、緊張は私たちの「敵」ではなく「味方」なのです。

「緊張してきた」=「パフォーマンスが高まってきた」ということで、喜びましょう。

➤「緊張してきた」場合は、「ワクワクする!」「ワクワクしてきた!」と言ってください。

…言葉を換えるだけで、パフォーマンスは20%も変わるのです。

(精神科医)樺沢紫苑著「行動最適化大全」より



な)放送当番...これも、緊張&ワクワク!

■「お遊戯会」の場合・・・「緊張」を、徐々に“アップ”していました。

自分たちだけ 教室で < 遊戯室で < 衣装を着けて < 他の組に見てもらおう < 本番
この「緊張アップ」は、まさに『ワクワク アップ!』だったのですね。

・・・見事に、“緊張を味方”にして成長した”子供たち・・・

➤これから迎える様々な場面を、「ワクワクする!」で乗り切っていってほしいものです。

* * *

<お知らせ>

【PTA 奉仕作業】

3月17日(金) 13:30~14:15

テラス…「PTA 役員」

園庭南側 側溝掃除…「ボランティア」

【卒園式】(なでしこ組) ~対面式~

3月22日(水) ・会場には、保護者2名

・園児は、マスク着用なし

・来賓は、羽島市長・教育長

・保護者は、マスク着用(求める)



※みんなで、「なでしこ 21名の卒園」をお祝いしましょう。た・ひ) お休み

20(月) 準備のため 時差降園 た) 13:00 ひ) 13:10 な) 13:20

23(木) 24(金) 給食なし 時差降園 た) 11:30 ひ) 11:40



昨年の様子

<ボランティア募集>

*子供たちに

見える効果 大

~大人の頑張り!~

◆小学校への入学を前にして（保護者の方へ） （私の教職経験より）

「入学までに大切にしてほしいこと」

<我が子の持ち味は、「これです！」といえる何かがあるか？>

入学までの準備

「身につけたい生活習慣」

- ・あいさつ や 返事
- ・着替え や 整頓
- ・排便（和式の経験は？）
- ・早寝・早起き
- ・好き嫌いなく食べる
- ・話が聞ける子、話ができる子

自分の呼称・・・「私 ○ 僕 ○」
 「俺 ×」「名前 ×」

親に期待するのは・・・

- ◆自信をもたせてほしい
 - ・一緒に喜ぶ & 悲しむ
 - 「一喜一憂」もあるけれど
 - 「長い目」でどっしりと
 - ・「step by step」焦らない
 - ・「個性＝持ち味＝人格」
 - 一人一人の違いを認める
- & “ごめんなさい” 親も言える様

《子供の小1プロブレム》&《保護者の小1ギャップ》

※イメージ(願いの)持ち方⇒決めつけ× 順応○

<環境の急激な変化や格差に、うまく適応できない>

子供・・・**「小1プロブレム」**

【遊び】中心 → 【学び】中心・・・(園の文化 → 学校教育の文化) 違う！

保護者・・・**「小1 ギャップ」**

就学前（幼・保）・・・個別に保護者の事情に即して、わりと丁寧に応答

→ 登園やお迎えの時に、直接、先生（保育者）と会話する機会が多い。

➢ 比較的、手厚く遇してもらった経験があるだけに・・・

(変化の一例) いじめ「いじめ防止対策推進法」・・・適応対象が、小学校以上

・子供どうしのトラブル・・・就学前 → 互いの謝罪によって「解決」

入学後 → 加害者、被害者の関係 + 謝罪

(指導を受け入れて、納得する)

*保護者は、子育て中にいろいろなことが起きて、少しずつ乗り越えながら、「だんだん親になっていく」ものです。

しかし、学校の先生方は「完成された親（理解者）である」前提で接する。

…と、ギャップが生まれ、すれ違いや思い違いが多くなりトラブル発生。

(小学校の保護者アンケートより)

●小学校に上がったとたん、先生方の子どもに対する関わり方に疑問と不安をいだいている。

一人ひとりの良さを見つけ、ほめて、その子の自信につながる関わり方をしていただきたい。

先生が子どもを上から見るのではなく、子どもの目線に立ち、気持ちに寄り添った関わり方

をお願いしたい。（担任の先生の接し方、指導の具体に“厳しすぎる”を感じての声）

➢ その通り！ 親としての心配がわかります。でも、厳しい指導だけでしょうか？